

情報公開文書（複数施設研究用）

課題名	脳動脈瘤破裂によるクモ膜下出血に対する未破裂脳動脈瘤の破裂因子の管理の影響に関する研究		
研究期間	2008 年から 2022 年までの 15 年間		
研究の対象	オホーツク地区での未破裂脳動脈瘤の転帰を多施設のデータを集計して調べます。		
利用する情報の種類	オホーツク圏内の各医療機関の診療情報から未破裂脳動脈瘤の転帰について調査します。		
情報の管理について責任を有する者	北見赤十字病院 脳神経外科 部長 木村輝雄		
外部への情報提供	多施設共同研究グループ内		
研究組織	日本赤十字社	北見赤十字病院 脳神経外科 部長	木村輝雄
	日本赤十字社	北見赤十字病院 脳神経外科医師	藤川征也
	日本赤十字社	北見赤十字病院 脳神経外科医師	真田隆広
	日本赤十字社	北見赤十字病院 脳神経外科医師	鈴木望
	国立大学法人	旭川医科大学 脳神経外科助教	佐藤広崇
	国立大学法人	旭川医科大学 脳神経外科講師	三井宣幸
	国立大学法人	旭川医科大学 脳神経外科教授	木下 学
	北海道厚生連	網走厚生病院 脳神経外科部長	泉 直人
	北海道厚生連	遠軽厚生病院 院長	稲葉 聡
	広域紋別病院	院長	曾ヶ端克哉
	医療法人	北星記念病院 理事長・院長	松岡慶太
	社会医療法人	道東の森総合病院脳神経外科	川崎和凡
	小林病院	脳神経外科	桐山健司
研究の意義・目的	脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血の予防に対して、未破裂脳動脈瘤に対する破裂因子の管理や手術が行われていますが、どの程度地域のくも膜下出血の減少に寄与しているかは明らかではありません。脳動脈瘤の破裂因子の管理を強化して、脳動脈瘤の自然歴を考察し、未破裂脳動脈瘤の今後の follow の在り方について検討することが、この研究の目的です。		
研究の方法	オホーツク地区での未破裂脳動脈瘤のうち、破裂因子の管理を厳重に行った A 群と 2008 年の脳ドックガイドラインに則した治療を行った B 群の FOLLOW した症例のくも膜下出血の件数、未破裂脳動脈瘤の手術の件数を多施設のデータを集計して調べます。		

その他

予想される利益

対象者に直接の利益は生じませんが、研究成果により将来の医療の進歩に貢献できる可能性があります。

予想される不利益

参加による不利益はありません。

お問い合わせ先

北見赤十字病院 脳神経外科 担当 木村輝雄

所在地 : 北見市北 6 条東 2 丁目 1 番地

電話 : 0157-24-3115